

**公益財団法人山口市文化振興財団**

**令和6年度 事業計画**

**令和6年3月**

## I 基本目標

山口市から管理運営を受託している山口市会館、中原中也記念館及び山口情報芸術センターにおいて、各施設の持つ特性を十分に生かしながら、さまざまな文化に触れる機会、参加する機会などを提供する企画事業を実施することで、山口市における文化振興の一翼として、文化を育むまちづくりに寄与するよう努めます。

## II 基本方針

市民自らが多様な文化活動へ参加し、芸術文化を享受できる環境づくりを目指して、鑑賞型、参加型、さらには創造型の企画事業を展開するとともに、広く文化に関する情報を収集し、提供します。

また、市民の自主的かつ創造的な文化活動を促進し、支援するための事業を行います。

なお、これらの事業を実施するにあたっては、年度単位での事業計画策定及び事業実施のみでなく、長期的な視点による事業計画や事業展開を行うとともに、事業内容の一層の充実に資する新たな発想による取り組みも推進します。

## III 個別事業計画

定款第4条に掲げる6事業、「企画事業」、「育成・支援事業」、「調査研究事業」、「情報収集・提供」、「施設の管理運営受託事業」及び「その他法人の目的を達成するために必要な事業」について、以下のとおり実施します。

### 1 企画事業

当財団が山口市から管理運営を受託している山口市会館、中原中也記念館及び山口情報芸術センターにおいて、各施設の持つ特性を生かしながら、文化振興に関する様々な企画事業を実施することで、市民の皆様が幅広く芸術文化に触れる機会、参加する機会を創出します。

#### (1) 事務局

山口市会館や山口情報芸術センター等、市内の文化施設を活用して、広域的かつ幅広い年齢層を対象とした、演劇・ミュージカルなどの舞台芸術や、室内楽コンサートの公演を行います。

#### (2) 山口市会館

ジャズコンサートなどの質の高い音楽の鑑賞機会を提供するとともに、娯楽性の高い落語会などを開催します。

また、毎年恒例となった市民参加型のコンサートの開催など、市民に多様な芸術文化の鑑賞機会を

提供します。

### (3) 中原中也記念館

中原中也を軸として、その軌跡や親交のあった人物等を紹介するテーマ展示や企画展、特別企画展を実施するとともに、中也の人物像と作品を分かりやすく解説し、理解を深める一助として、講演会や読書会を開催します。

また、中也の生誕日には、詩の朗読を好んだ中也にならい、自作や愛読の詩を朗読する市民参加型イベント〈中原中也生誕祭〉を実施します。

開館30周年を記念する事業を本格展開する令和6年度は、展示の充実や関連イベントの実施、前年度からの継続事業である収蔵資料のデジタル化や副読本の電子書籍化などに取り組みます。

### (4) 山口情報芸術センター[YCAM]

新たな芸術表現を創造し、国内外へ発信していくこと、メディア・コミュニケーション技術や最新テクノロジーの社会応用を実験できる施設として存在すること、その成果を市民に質の高い文化芸術体験や教育的な価値として届けることを基本理念として、多彩な企画を実施するとともに、市民や地域コミュニティとの関りを意識した事業を進めます。

また、山口市教育委員会や山口市中心市街地活性化推進室との連携事業に、引き続き取り組みます。

## 2 育成・支援事業

財団友の会会員へのサービス向上を図るとともに、組織の拡充に努めます。

また、市民が日常的に芸術文化に触れる機会、文化活動に取り組む機会の拡充を図るため、市民の自主的な文化活動に対し助成金を交付し、側面的に支援する事業を継続実施します。

### (1) 友の会の拡充と運営

公益財団法人山口市文化振興財団友の会「Ars Nova Yamaguchi」(呼称:エニー)の会員について、既加入者の継続加入及び新規加入の促進を図ります。

なお、令和6年度は、3月4日から6月9日にかけて入会金無料を特典とする新規入会キャンペーンを実施します。

#### ① 会員期間

入会日から翌年の入会月末まで

#### ② 会費

・入会金(更新時には不要) 500円  
・年会費 1,500円

#### ③ 会員特典

・チケットの先行予約及び割引購入  
・情報誌(4・7・10・1月発行)及び催物案内(毎月末)の定期送付

・入会時及び更新時に YCAM シネマ及び中原中也記念館の招待券進呈

④ 会員数の推移(件数)

※令和6年3月1日時点

種 別	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
個人会員	885	1,129	988	1,024	1,313	※1,714

(2) 市民文化活動支援事業助成金交付事業

営利を目的としない市内の個人及び団体等が行う文化事業を助成支援するため、平成9年度に創設した「公益財団法人山口市文化振興財団市民文化活動支援事業」を継続実施します。

市報への募集記事掲載や市内関係機関への資料配布等による広報を行い、より多くの市民の自主的かつ創造的な芸術文化活動を支援します。

① 募集期間

令和6年3月1日～3月31日

② 助成金額

一事業につき30万円を上限

③ 審査方法

審査委員会の設置、開催

④ 申請及び採択件数の推移

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
申請件数	14	20	9	11	15	14
採択件数	14	13	8	11	15	13

### 3 調査研究事業

(1) 中原中也研究

関係資料の調査、収集、修復、複製の製作等により、中原中也研究を推進します。

(2) 自主企画事業に関する調査及び研究

公演毎にアンケート調査を随時行い、企画事業に対する市民ニーズ等の調査研究を進めます。

また、事業成果のまとめとして、ドキュメント制作や展示・公演記録、ワークショップパッケージ等の情報発信に関わる作業を行います。

### 4 情報収集・提供事業

(1) 情報誌「any」の刊行

平成9年1月から刊行している情報誌を年4回(季刊)、継続刊行します。

(2) 山口市民会館催し物案内の発行

市民会館における催し物を紹介案内する広報紙を月1回、継続発行します。

(3) 中原中也記念館 館報第30号の発行

活動記録、寄稿文等を掲載する館報を年1回、継続発行します。

(4) 機関紙「中原中也研究」第29号の刊行

研究論文、エッセイ、講演・シンポジウム記録等を掲載する機関誌を年1回、継続刊行します。

(5) 山口情報芸術センター催し物案内の発行

山口情報芸術センターにおける催し物を紹介案内する広報物を継続的に発行します。

(6) ホームページの充実

財団及び山口情報芸術センター、中原中也記念館、山口市民会館のホームページにより、イベント情報を随時発信します。

また、財団の主催・共催公演に関しては、財団及び山口情報芸術センターのホームページからでもチケット予約ができるほか、友の会への入会・更新もホームページ上から手続き可能となっています。

## 5 施設の管理運営受託事業

当財団が山口市から管理運営を受託している山口市民会館、中原中也記念館及び山口情報芸術センターにおいて、お客様に「安全、安心、快適」に利用していただけるよう適切な業務を行います。

また、山口市民会館及び山口情報芸術センターにおいては、市の条例に基づいた施設の貸与事業を行い、利用者のニーズを踏まえた施設運営に努めます。

## 6 その他法人の目的を達成するために必要な事業

山口市が主催する、山口市出身の詩人中原中也の業績を顕彰するために創設された現代詩を対象とする文学賞、「中原中也賞」について、市からの委託によりその贈呈式の運営補助を行います。

第29回目となる今回の中原中也賞には、公募・推薦の詩集240点の中から佐藤文香の『渡す手』が選ばれ、中原中也の生誕日である4月29日に、賞の贈呈式と記念講演を開催します。

## 企画事業一覧

### 財団事務局

事業名	開催時期等	内容
かていんピアノがやってきた @YCAM	4月3日(水)～14日(日) 場所:山口情報芸術センター	人気ピアニスト・角野隼人が全国ツアー2023“Reimagine”で使用し、全国各地に感動を届けたアップライトピアノ『かていんピアノ』がYCAMのホワイエに登場。期間中は誰でも自由に弾くことが可能です。また期間中、山口県内の演奏家を招いて、ロビーコンサートを実施します。
人形劇団ひとみ座「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」	5月2日(木) 場所:山口市民会館	子どもたちに大人気の児童書「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」を舞台化。人形劇として上演します。こどもステーション山口との共催事業です。
舞台「Le Fils 息子」	5月25日(土) 場所:山口市民会館	フランスの演劇界を牽引する稀代の劇作家フロリアン・ゼレールが描く「家族三部作」の1つ。岡本健一・岡本圭人親子が、舞台上でも親子を演じることで話題を集めた作品の再演。ほかに若村麻由美、伊勢佳世、浜田信也、木山廉彬が出演します。
舞台「La Mère 母」	5月26日(日) 場所:山口市民会館	フランスの演劇界を牽引する稀代の劇作家フロリアン・ゼレールが描く家族三部作の1つで、今回新作として制作され初演となる作品。主役には若村麻由美が抜擢。上述の「Le Fils 息子」との同時上演であり、岡本健一・岡本圭人親子も共演。同じ役者が4名、同じ役名で出演します。
辻井伸行日本ツアー	6月1日(土) 場所:山口市民会館	絶大なる人気を誇るピアニスト・辻井伸行による単独ツアー。初の山口市コンサートを開催します。KRY山口放送との共催事業です。
山崎育三郎 全国 TOUR 2024 『THE HANDSOME』	7月20日(土) 場所:山口市民会館	ミュージカル俳優、歌手、またストレートプレイの俳優としても華々しく活躍する山崎育三郎によるワンマンライブ。夢番地広島との共催事業です。
松元ヒロ・ソロライブ	7月13日(土) 場所:山口市民会館	政治や社会問題に鋭く切り込むネタが持ち味の芸人・松元ヒロによるソロライブを上演します。こどもステーション山口との共催事業です。
民族芸能アンサンブル若駒 「でべそ版ずっこけ狂言 ぼんさんぼんさん ギンナンパー」	9月8日(日) 場所:山口市民会館	日本の民族芸能を独自にアレンジして上演を行う民族芸能アンサンブル若駒によるでべそ版ずっこけ狂言の第二弾を上演。こどもステーション山口との共催事業です。

事業名	開催時期等	内容
DYNAMIC 賢者の音Ⅲ「五十嵐健太」	10月6日(日) 場所:山口市民会館	まさに今、世界が注目し始めたばかりの、国際的に目覚ましい活躍を遂げる演奏家を招いてお届けするコンサート・シリーズ。第3弾として、サックスプレイヤーの五十嵐健太を招き、ソロや他の演奏家とのセッションなど、多彩な内容のコンサートとなります。
ケロポンズ ファミリーコンサート	10月12日(土) 場所:山口市民会館	代表作「エビカニクス」をはじめ、全国各地で大人気のミュージック・ユニット、ケロポンズが再び山口に。こどもステーション山口との共催事業です。
サーカス・シルクール「ナイトイング・ピース」	11月9日(土)・10日(日) 場所:山口情報芸術センター	スウェーデンのストックホルムを拠点とし、スカンジナビアを代表する現代サーカスのカンパニー、サーカス・シルクールによるパフォーマンス公演。サーカスアーティストたちが謎めいた音楽に導かれながら、時に儚く、時にダイナミックにエアリアルやシルホイール、玉乗り、綱渡りなどのパフォーマンスを繰り広げます。
串田和美 朗読と音楽	12月7日(土) 場所:山口情報芸術センター	山を思い、音楽や楽器と語り合い、日常を深く探索した詩人、哲学者、随想家である串田孫一の残した思索のことばを、孫一の息子であり、俳優・演出家の串田和美と、無類の読書好きである女優・小林聡美が音楽に合わせて朗読します。中原中也記念館開館30周年コラボ企画として開催。
カンパニーデラシネラ「はだかの王様」	令和7年 2月15日(土)・16日(日) 場所:山口情報芸術センター	2020年、YCAMで「ドン・キホーテ」を上演し、台詞を使わず身体だけで見事に表現したカンパニーデラシネラ。今回上演する「はだかの王様」も台詞は一切ない無言劇です。洗練された身体の動きがスピーディーに展開し、イメージがどんどん膨らむ不思議な舞台です。
江戸糸あやつり人形「ショ・ジョ・ジ」	令和7年 3月16日(日) 場所:山口市民会館	江戸時代から伝わってきた日本独自の糸あやつり人形の魅力を、4つの踊りと1つの短いお芝居で紹介。こどもステーション山口との共催事業です。

## 山口市民会館

事業名	開催時期等	内容
映画上映会 「すずめの戸締まり」	4月20日(土)	「君の名は。」「天気の子」の新海誠監督による、少女の冒険と成長を描いた長編アニメーション「すずめの戸締まり」を上映します。
特撰落語名人会 三遊亭好楽・三遊亭小遊三	4月29日(月・祝)	人気番組「笑点」など、テレビでおなじみの噺家による落語会です。
ジョイントコンサート 山口県立大学吹奏楽団 BLAZE×山口大学文化会 吹奏楽部	6月9日(日)	山口大学文化会吹奏楽部と山口県立大学吹奏楽団 BLAZE による合同の演奏会です。 米米 CLUB のメンバーで、サクソ奏者の織田浩司がゲスト出演します。
映画上映会 (※作品未定)	6月30日(日)	大ホールにて映画上映会を開催します。
落語公演(仮) 春風亭昇太、林家たい平	7月25日(木) 開催予定	人気番組「笑点」など、テレビでおなじみの噺家による落語会を予定しています。
地域住民のためのコンサート ザ・チェンバープラス～NHK 交響楽団金管奏者たち～	12月15日(日)	NHK 交響楽団の金管楽器奏者5名による圧巻のプラス。オリジナル作品を中心とした演奏と、ユーモアあふれるトークを織り交ぜたコンサートです。
第27回ニューイヤー バンドフェスティバル 2025	令和7年1月25日(土)	山口県吹奏楽連盟加盟団体が、平素の練習成果を発表するとともに、他団体の演奏を聴くことにより、演奏技術ならびに音楽表現力の向上、および団体間の親睦を図るコンサートです。
第52回市民コンサート	令和7年3月20日(木・祝)	年度内に開催された各種音楽コンクールにおいて優れた成績を収められた方や、平素から熱心に音楽活動が続けている方々を招いてのコンサートです。 市内の中高生で編成するジュニアオーケストラがコンサートの最後を締めくくります。
(仮)クラシックまたはジャズ コンサート	開催時期未定	質の高いクラシックもしくはジャズのコンサートを開催します。
(仮)ミニコンサート	開催時期未定	旧軽食喫茶室のスペースを活用して、地元演奏家によるミニコンサートを開催します。

## 中原中也記念館

事業名	開催時期等	内容
第 21 回テーマ展示 「空の歌」	2 月 15 日(木)～令和 7 年 2 月 11 日(火・祝) ※特別企画展期間を除く	中原中也の詩の中には、「空」が多く登場します。空に向けて自らの思いを懺悔したり、神を叫んだり、自己の苦しみを嘆くなど、中也にとって「空」とは、人知を超えた、崇高なものの象徴でした。また、中也は自然現象に自らの心情を重ねて表現することが多く、天候や時の流れとともに、「青空」「曇天」「茜の空」「紺青の空」など、表情豊かな空の情景が表現されています。「空」には、死者の魂や精霊、天女、「黒い旗」などのイメージが重ねられ、詩的なイマジネーションの源でもありました。本展では、中也の詩の重要なモチーフである「空」について、様々な視点から紹介します。
企画展 I 「ダダイスト中也のノート」	4 月 17 日(水) ～ 7 月 28 日(日)	16 歳の中也が当時住んでいた京都の古本屋で手に取ったのが、高橋新吉の詩集『ダダイスト新吉の詩』です。従来の文学表現と一線を画すダダの詩に魅了された中也は、「ダダイスト中也」を名乗り、新吉の影響が強く感じられるダダの詩をノートに綴るようになります。そのうちの 1 冊である「ノート 1924」が、使用開始から 100 年を迎えたのを記念し、この度展示を開催します。「ノート 1924」の詩篇、『ダダイスト新吉の詩』を通じて影響を受けたダダイズム、当時の中也の暮らしぶりなどの紹介を通じて、中也の詩人としての始まりの姿を追います。
中原中也生誕祭「空の下の朗読会」	4 月 29 日(月・祝)	中也の生誕日に館の前庭で開催。第一部は、詩の朗読を好んだ中也にならい、自作や愛読の詩を朗読する一般参加の朗読会を、特別ゲストに和合亮一(詩人)を迎えて行います。第二部は、深川和美(歌手)、谷川賢作(ピアニスト)によるミニライブを行います(無料)。このほか、オンライン・イベントとして、朗読を動画で Twitter 投稿いただく「中也 web 朗読会」を行います。
屋外展示	前期 5 月～10 月 後期 11 月～令和 7 年 4 月	中也ゆかりの山口線をイメージした枕木を一部使用した中庭では、今年のテーマ「30 歳の詩」にちなんだ中也の詩を紹介します。

事業名	開催時期等	内容
ジェフリー・アングルス訳中原中也詩集をめぐるトーク (仮)	6月8日(土)	開館20周年記念事業の「英訳パネルディスカッション」に参加し、その後も中也の詩の翻訳に取り組んでいるジェフリー・アングルス(西ミシガン大学教授)を招いた講演会を行います。
第9回ぼうしの詩人賞 ～あつまれ！未来の中也たち！～	募集：7月1日～10月上旬	帽子をかぶった中也の肖像写真のイメージから名付けられた「ぼうしの詩人賞」。 山口市内の小・中学校に在籍する児童・生徒を対象に、「中原中也」や「詩」に触れる機会をつくるため創設しました。 12月に表彰式・朗読会を、12月～令和7年2月に入選作品の展示を行います。
「中原中也研究」第29号	年1回	中原中也記念館の機関誌として、年1回発行します。
特別企画展 「中也とランボー、ヴェルレーヌ」	8月1日(木) ～9月23日(月・祝)	中原中也に大きな影響を与えたフランス象徴派の詩人、アルチュール・ランボーとポール・ヴェルレーヌ。中也は17歳のときに彼らの詩に出会い、魅了され続けました。その憧れは中也が詩人として成長していくうえで大きな糧となりました。 ランボーとヴェルレーヌの影響が中也の作品にどのように息づいているのか、また、日本のランボー受容史において輝きを放つ中也の翻訳の魅力に迫ることで、現代においても読み継がれ、多くの人々を惹きつける3人の詩の世界を紹介します。
公開講演	第1回 9月7日(土) 第2回 10月～令和7年2月開催予定	第1回は、「中原中也の会」との共催により、講演会を行います。講師：町田康(小説家・ミュージシャン)。
企画展Ⅱ(前期) 「浅田弘幸展——『眠兎』と中也、そして新作絵本」	9月26日(木) ～令和7年1月26日(日)	『IⅡ～アイル～』『テガミバチ』(集英社)などの作品で知られる漫画家の浅田弘幸は、初期の代表作『眠兎』を始め、中原中也の作品や人生に啓発された作品を数多く制作してきました。 本展では、中也の詩をテーマにした絵本の出版を記念し、Ⅰ期【～11月26日】は『眠兎』など中也に関連した作品を中心に、Ⅱ期【11月29日～】は刊行予定の新作絵本を中心に、浅田の画業を紹介します。

事業名	開催時期等	内容
企画展Ⅱ(後期) 「原田和明のオートマタと中原中也」	令和7年1月29日(水) ～ 令和7年4月13日(日)	山口市在住のオートマタ(自動機械)作家・原田和明。原田はこれまでも、酒瓶を持った中也がコミカルな動きを見せる「或る中也」や、中也の詩情を月まで届けるゲーム「ゆあーん ゆよーん 月旅行」など、中也の人物像や詩から発想した作品を制作してきました。 本展では、中也をモチーフとした新作を始め、多様な原田の作品を展示し、観る人を楽しませる独創的な作品世界を紹介します。
中也忌	10月22日(火)	中也の命日10月22日、中也が眠る「中原家累代之墓」(吉敷・経塚墓地)において、一般参加を募った墓前祭を行います。また、募集したメッセージを墓前に供えるとともに、命日の前後には、追悼イベントを行います。
山羊の日	12月10日(火)	昭和9年12月10日、中也の生前に刊行された唯一の詩集『山羊の歌』。中也にとって念願の第一詩集が出た記念すべき日を「山羊の日」と名付けてお祝いします。
中原中也を読む会	毎月第4金曜日	教育普及事業として実施します。 テーマに沿った中也の詩を読み込んだり、記念館の展示を学芸員の解説とともに見学するなど、気軽におしゃべりしながら、詩の世界を楽しく味わうことができます(無料)。
開館30周年記念事業	通年	2月18日に開館30周年を迎え、メインとなる令和6年度には、展示の充実や関連イベントの実施、記念グッズの制作・販売、ロゴマークを活用した各種広報など、さまざまな記念事業を展開していきます。 また、令和5年度からの継続事業として、収蔵資料の高精細デジタル化・資料検索システムへの反映、中学生向け国語科副読本のデジタル(電子書籍)化・教育現場向け動画制作、令和7年度以降10年間の記念館事業の方向性を協議・検討いただく事業検討委員会の開催にも取り組みます。

## 山口情報芸術センター[YCAM]

事業名	開催時期等	内容
アート事業		
ウェンデルン・ファン・オルデン ボルフ新作展	11月30日(土)～2025年3月9日(日)	オランダの現代美術を代表するアーティストの一人ウェンデルン・ファン・オルデンボルフの新作を発表する展覧会です。 日本とオランダ、そしてインドネシアにゆかりのある女性アーティストのリサーチを進めている中で、本展覧会では山口ともゆかりの深い、女優で映画監督の田中絹代や、作家の林芙美子といった女性アーティストたちに焦点をあて、彼女たちの視点を通して制作した脚本による映像とサウンドを用いたインスタレーションを展開します。
meet the artist 2022 成果発表 中園町で逢いましょう	5月8日(水)～6月9日(日)	山口市内の空き家を活用して一時的に文化施設を創出する、市民参加型のアートプロジェクト「meet the artist 2022:メディアとしての空間をつくる」の成果を紹介するイベントです。 このイベントでは、プロジェクトで最終的に解体した古民家の一部を会場となるホワイエに再現します。そしてその内部で古民家をかつて構成していた部材を、さまざまなクリエイターらと什器や家具などに変換する作業を展開するとともに、プロジェクトの取り組みを紹介する様々な資料を展示します。
3SDC Resarch(OronCatts)	9月20日(金)～10月8日(火)	バイオテクノロジーを用いたアート活動を行う研究者でもある Oron Catts による山口地域のリサーチと、2025年度に開催予定の展覧会に向けたプロモーションとしての関連イベントを実施します。
YCAM Dance Crew 2024 ダンスブース展示	6月29日(土)～11月10日(日)	カメラやセンサーが埋め込まれたブースの前で体を動かすことで、だれでも楽しくダンス映像を撮影、演出することができる体験型の展示です。 2021年からスタートした YCAM Dance Crew の軌跡を紹介するアーカイブ展示も同時開催します。
YCAM Dance Crew 2024 メディアテクノロジーでダンスを パワーアップするワークショップ	8月2日(金)～4日(日)	国内外で活躍する振付師や映像プロデューサーらを講師に迎え、参加者がメディア・テクノロジーを用いたダンス映像の創作に挑戦するワークショップです。

事業名	開催時期等	内容
山内祥太パフォーマンス	令和7年1月11日(土)～2月2日(日)	デジタル時代の身体のあるかを生々しく表現するアーティストの山内祥太によるパフォーマンス作品を発表します。 私たちを取り巻く「世界の匂い」、そして「自分の匂い」をテーマに、さまざまなものから「匂いのジュース」を抽出し、その生を変化させる工程を「匂いの実験の場」としてYCAMに立ち上げます。
子ども向けオリジナル作品制作リサーチ	未定	子供たちに質の高い舞台鑑賞を鑑賞する機会を提供するため、小学校や支援学校などの体育館や教室でも上演できるように、コンパクトで巡回が簡単な作品を制作するためのリサーチを行います。 わかりやすく、シンプルであっても、観賞後に謎やさらなる興味を掻き立てる作品を目指します。
Audio Base Camp #3	10月11日(金)～14日(月・祝)	高いクオリティの音響機材をセッティングした空間で、特定のテーマに沿った録音物を聴取するリスニングイベントの第3弾です。 アーティストでサウンドエンジニアの大城真を監修に迎え、研究者やアーティスト、ミュージシャンなどさまざまな専門家が、自作の楽曲や、フィールドレコーディング、アンビエント音楽といったテーマに応じて多種多様な録音物を紹介します。
sound tectonics LIVE	随時	国内外の最先端のサウンド・アート、音楽表現を紹介するライブコンサートシリーズです。 10月26日に開催するコンサートでは、コンピュータープログラムをステージ上で操作、実行することで音や映像を生成するパフォーマンスの技法「ライブコーディング」をテーマに開催します。

事業名	開催時期等	内容
Yamaguchi Seasonal 2024	7月26日(金)～11月10日(日)	YCAMがこれまで制作／発表してきたインスタレーション作品を、山口市内の各所で公開する展覧会です。
Forest Symphony		音楽家でアーティストの坂本龍一がYCAMとともに制作・発表したインスタレーション作品《Forest Symphony》を展示します。世界各地の樹木から収集した生体電位データに基づき、会場を包み込むサウンドを生成するプロジェクトです。雪舟ゆかりの文化財、常栄寺雪舟庭において実施します。
without records		音楽家の大友良英と美術家の青山泰知、エンジニアの伊藤隆之が、2008年にYCAMで制作／発表したインスタレーション作品《without records》を展示します。本作は多数のポータブルレコードプレイヤーからなるサウンドインスタレーション作品で、2008年の初公開後、形態を変えながら国内外で多数展示されています。昨年に続いての再展示となる今回は、中心市街地の特設会場を中心に展開します。
教育普及事業		
YCAMぐるぐるラジオ Season3	通年	オリジナルのインターネットラジオ番組です。YCAMのスタッフがナビゲーターとなり、YCAMに訪れるさまざまなクリエイターらをゲストに迎え、ゲストへのインタビューをお届けするほか、リスナーから寄せられるメディアテクノロジーや芸術表現、山口の生活など、様々な質問やお悩みを一緒に考えていきます。
地域開発事業		
夏のへウレーカ!	9月7日(土)～10月6日(日)	アーティストやエンジニアら、ある分野の専門家が、小学校や中学校などで実施されている「夏休みの自由研究」に挑戦した成果を紹介する展覧会です。この展覧会では、この自由研究を題材に、実際に専門家がそれに取り組むことによって、「自由さ」や「探求の姿勢」を浮かび上がらせるとともに、アートや科学などの分野で幅広く用いられる「実験」という営為の社会的な意義について再考していきます。

事業名	開催時期等	内容
コロガルあそびのひやかてん 2024	7月13日(土)～9月15日 (日)	子どもたちが遊びを通じて自ら考え、創造するための環境としてデザインされた遊び場「コロガル公園シリーズ」の最新版です。 会場は山口市中心市街地に位置する百貨店、山口井筒屋で、小学2年生以下の子どもを対象として、遊びながら考え、考えながら遊ぶというプロセスを繰り返すことで、思考の柔軟性と創造力が刺激される子どもたちの「場」を生み出します。
やまぐちアートコミュニケーター プログラム2024 架空の学校「アルスコーレ」	通年	アートや学びに関するイベントの企画制作に携わる人材を育成する長期プログラムです。イベント制作に必要なさまざまなノウハウはもとより、街の賑わいや、街の新たな魅力を生み出す視点を養っていきます。プログラム全体とそれが展開される「街」を架空の学校に見立て、山口市中心市街地での学びと交流の時間と空間を創出します。『アルスコーレ』と名づけられたこの架空の学校では、公募で集まった高校生からシニアまでの幅広い世代のメンバーを対象に、多様なプログラムを実施します。
未来の山口の授業 at School	通年	YCAM が開発した教育プログラムを山口市内の小中学校で実施するプロジェクトです。 山口市教育委員会と共同で実施する「やまぐち子ども未来型学習プロジェクト」の一環として、ファブラボ山口の協力のもと、山口市内の小中学校で、YCAM が開発した教育プログラムを実施するとともに、学校教員向けの研修を開催します。情報を分かりやすく伝達、発信する能力や、プログラミング的思考などの能力を育み、これからの社会を担う人材の育成につなげていきます。
ラボ事業		
YCAM Interlab Camp vol.5 ホモ・コーデンス	10月25日(金)～27日(日)	第一線で活躍する技術者や研究者を迎え、今後のメディアアート作品の制作に使用されるツールについて紹介し、国内外の参加者とともに学ぶ集中ワークショップ・シリーズの第5弾です。

事業名	開催時期等	内容
シネマ事業		
真夏の夜の星空上映会 2024	8月9日(金)～11日(日・祝)	<p>夏休み期間に、隣接する中央公園で開催する毎年恒例の野外上映イベントです。</p> <p>多彩なジャンルの映画を上映することから、親子連れからお年寄りまで多くの方々が来場し、YCAMの「夏の風物詩」として、大きな賑わいを見せています。</p> <p>今回は3日間に渡ってアニメーション映画など、親子連れからお年寄りまで楽しめる3本の映画を上映します。</p>
YCAM 爆音映画祭 2024	8月29日(木)～9月1日(日)	<p>爆音映画祭・boid 主宰の樋口泰人監修のもと、国内でも最高レベルの音響環境と言われる山口情報芸術センター スタジオ A を会場に、年度ごとに工夫に溢れたセッティングで複数作品の映画上映を行います。</p> <p>映画上映では通常用いられないことのない音楽用の音響機材を贅沢に用いて、鑑賞者に繊細かつ大音響で映画を体感してもらうことで、これまでにない映画体験を創出します。</p>
ショートフィルム フェスティバル in YCAM	令和7年2月8日(土)～13日(木)	<p>1999年より日本各地で開催されている米国アカデミー賞公認・アジア最大の国際短編映画祭「ショートショートフィルムフェスティバル&amp;アジア」(SSFF&amp;ASIA)と連携した「ショートフィルムフェスティバル in YCAM」を開催します。映画館で観る機会の少ない世界各国の選りすぐりのアニメーション、劇映画、ドキュメンタリー映画といった多様なジャンルの短編映画を上映します。</p>
YCAM シネマ	通年	<p>通年で、国内外の優れた映画作品を選定し、上映しています。</p> <p>古典から最新作、地方では上映機会の少ない海外作品まで幅広く様々なジャンルの映画の上映を行います。また、上映に合わせて、監督や出演者らのトークイベントも随時開催し、映像作品への理解を深めます。</p>

事業名	開催時期等	内容
委嘱作品の修復・整理・保存	通年	国内外の大学・研究機関などの芸術文化関係者との連携により、メディアアート作品の修復・整理・保存に関する研究を進めます。
委嘱作品の巡回	通年	<p>開館以来、YCAM が制作し、発表してきたオリジナルの委嘱作品やワークショップの多くが、国内外の美術館や劇場、アートフェスティバルなどへ巡回しており、このことが現在の国内外からの高い評価へとつながっています。</p> <p>YCAM のより一層の価値向上に資するため、委嘱作品の巡回展に積極的に対応します。</p>
プロモーション事業	通年	<p>YCAM の多岐に渡る活動の内容や魅力を、ポータルサイトや、テレビ・新聞をはじめとするマスメディア、ウェブマガジンなどのオンラインメディアへ向けて発信していきます。</p> <p>また、多様な文脈やアウトプットを発信する手段として年間のラインナップを紹介するガイドブックを制作し、幅広い層への情報発信を積極的に進め、YCAM への理解度を高めていきます。</p>